

教え子を再び戦場に送るな！

「大阪の教育力」向上プラン（素案）

日常生活まで数値目標でかんじがらめ

- ・家庭学習の定着率（30分以上）を82%以上に
 - ・運動部入部率を全国平均まで高める（中学65% 高校42.7%）
 - ・全国学力テスト 無回答率「0」の実現
 - ・読書好きの子ども全国平均以上（小学46% 中学44%）
- などなど —— 今後5年間の具体的とりくみで

大阪府教育委員会は9月12日「大阪の教育力」向上プラン（素案）を発表。

これは、99年から10年間におよび「教育改革プログラム」に続く、今後10年間の大阪の教育行政のめざす方向（「3つの目標」「10の基本方針」「35の重点項目」と今後5年間の具体的取り組みを示したものです。

府教委はこの「素案」をもとにパブリックコメント等を募集し、12月に成案とするとしています。

教育条件整備、財政的な裏付けを欠いた無責任なプラン

行政が教育条件の整備に向けて、その計画的な実施へ、数値目標を設定することは当然です。しかし「素案」に示された数値目標は、教育条件整備の検討とは異なり、「全国一斉学力調査」結果の全国平均などと比較して、競争をあまりながら、唐突に、きわめて無責任に提示されています。

ます。

数値目標の根拠となる事柄はまったく示されないまま、実態とはかけ離れた目標達成を、管理的に、現場に押しつけようとしています。

教育は、人間としての人格を育む、その過程が大事です。結果のみを追い求めるやり方は、必ずゆがみを引き起こします。教育内容や方法、教育結果に対する数値目標のおしつけは、子どもを受け止める柔軟性や包容力を奪い、教育を画一化して、教育困難をいっそうおし広げ、教育の営みを破壊することにつながります。

募集期間

9月24日～11月30日（日）

（素案）全文は大阪府教育委員会HPに掲載



全教

2008年10月8日
NO. 425

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

とよなか

全教豊中教職員組合

ちょっとまって!

いまこそ食の安心・安全を!

巨大給食センターの建て替えではなく、 自校調理方式の検討を!



市新学校給食センター基本構想検討委員会は08年2月に(提言)の最終報告書を出しています。

現在ある給食センターの老朽化から新しい給食センターをつくるというものですが、

給食センター建替えありきで、自校単独調理について、まともにも論議したこともありませ

今年度の検討委員会開催日程はいまだに未確定ですが、この秋、豊中の学校給食を考

える2団体(もぐもぐの会・豊かな学校給食をつくる会)が共同で自校単独調理方式を求めて、署名に取り組みます。

給食署名への賛同・協力! お願いします

公務職場における不安定雇用・低賃金

大教組臨時教職員部が白書を作成！

大阪教職員組合臨時教職員部が「大阪りんきょう白書」をまとめました。学級担任など正規教員と同じ仕事をしながら、常に雇用不安に直面し、

低賃金・差別賃金がおしつけられているなど、深刻な実態を明らかにしています。大阪教職員組合のHPで見ることが出来ます。全教豊中のHPでも見ることが出来ます。

九条の会・豊中
結成3周年記念
講演と♪演奏の夕べ

10月24日（金）
午後6時開場

アクア文化ホール
講演 池田香代子さん
演奏 大阪センチュリー交響楽団有志

参加費 500円

いつも大好評の
何森真人さん

POWER UP講座

10月19日（日）午後1時半～4時

ところ すてっぷ エトレ豊中5階
セミナー室

今回は！！

- ◇模擬授業
- ◇授業のすすめ方
- ◇算数ゲームで習熟を
かけざんキャップとりゲーム
面積をゲームで
チョコうつしゲーム（単位あたり量）

受講費 1000円

※詳細はビラ・ポスターをご覧ください。



みんなで考えよう

どうなる どうする

新学習指導要領

II 総論・総則

道徳教育の強調

現行の要領と改訂要領を比較すると道徳教育が異常に強調されています。

改訂要領は、総則でこれまでに「道徳の時間をはじめ」としていたものを「道徳の時間を要として」とあらためて位置づけています。さらに、すべての教科等の「指導計画の作成と内容の扱い」に「道徳の時間などとの関連を考慮しながら：適切に指導すること」という文章を挿入して学校教育全体を徳目おしつけの「道徳教育」でがんじがらめにしようとしています。

奉仕・体験活動が特別に強調されているのも特徴です。

おしつけを強めるため「道徳教育推進教師」なるものを新たに導入し、計画立案・点

検・監視をおこなわせようとしています。

「伝統と文化」による注入教育

各教科で「伝統と文化」が強調されています。国語ではすべての学年に「伝統的な言語文化に関する事項」が新たにおかれています。

戦前・戦中には、「万世一系の天皇の名称」や教育勅語を意味も考えさせずに暗唱させることがおこなわれました。

小3・4年での文語調の短歌や俳句など科学的な根拠も示されず、発達段階を無視した内容が一方的に示されています。

競争と選別、「格差づくり教育」の徹底

改訂要領は週時数を小低で2時間、中高学年と中学で1時間増やすとなっています。そのため7時間授業や長期休業の短縮を事実求めるものとなっています。

ずさんな形で「3割削減」した現行要領の教育内容を今回は、逆に発達段階や教科の系統性も無視してつめこみおしつけようとしています。

中教審でもフィンランドの例を挙げて「授業時間と学力との間の因果関係は明らかでない」としているのに、時数を増やすというありさまです。

PISA調査の結果も学力的に低位の層が広がっていることがわかっていきます。

人間をモノ扱い

―目標管理システム

改訂要領には「目標を達成するよう教育を行うもの」とあります。これは、教育課程におけるPDCAサイクルの確立をねらったものです。

目標管理システム・PDCAサ

イクルは、そもそも物の生産過程における品質管理を徹底する発想から生まれてきたものです。

「指導と評価の一体化」を強調し、教職員に結果責任まで負わせて、「全国学テ」でチェックし、学校評価や教員評価につないでいくねらいをもっています。

「伝統と文化」の強調

| | | |
|--------|-------|--------------------------|
| 国語 | 小1・2年 | 昔話や神話・伝承 |
| | 小3・4年 | 易しい文語調の短歌や俳句 |
| | 小5・6年 | 古文や漢文、近代以降の文語調の文章 |
| 社会 | | 「歴史の中での伝統と文化」「神話・伝承」 |
| 算数 | | そろばん(一方、パソコンのため小2でのローマ字) |
| 音楽 | | 日本古謡、唱歌、和楽器 |
| 中学体育 | | 武道の必修化 |
| 中技術・家庭 | | 和装 |